

子育てを楽しもう

12月の行事

● 加茂野児童館 ●

開館時間 9:00～12:00 13:00～17:00
休館日 日・祝日 ☆土曜日は、一日開いています
※ 3日(土)・29日(木)～1月3日(火)は休館します
電話 28・8878
子育て相談 9:00～16:30(日・祝日以外)

<未就園児対象>

なかよし広場

2日(金)・9日(金)

午前11時～11時45分

※読み聞かせは、毎日行っています

<小学生対象>

囲碁クラブ…毎週土曜日

小学生 午前8時30分～9時30分

年長児 午前9時30分～10時

手芸クラブ…第3土曜日 午後1時30分～3時

「あみもの」

※毛糸・かぎ針をお持ちください

<誰でも>

ゲームで遊ぼう<ストラックアウトで遊ぼう>

10日(土) 午前10時30分～11時30分

● サンサンルーム ●

開館時間 9:00～16:30
休館日 日・祭日 電話 27・6555
子育て相談 9:00～16:30 (平日のみ)

<おはなし広場>

毎週火曜日

20日(火)は、クリスマス会を行います

<遊びの広場>

毎週金曜日

※いずれも、午前10時30分からサンサンルーム

その他の子育てサロン会場

すくすくルーム(みのかも健康の森)

毎週月・火曜日

にこにこルーム(津田左右吉記念館)

毎週木・金曜日

※開館時間は、いずれも午前10時から午後3時まで

年末年始の休館のお知らせ

12月28日(水)から1月4日(水)まで休館となります。ご注意ください。

時代の記憶

だん

第80話

『ハルとナツ』という橋田寿賀子原作のドラマを見ました。80歳になったブラジル移民のハルは70年ぶりに帰国し、日本に一人残したまま音信不通となっていた妹のナツを捜し当てます。ハルは激動の時代を困苦の移民生活に耐え、ナツは日本で戦争と混乱の時代を一人で生き抜いた苦難の歳月のドラマでした。

暦はまもなく12月8日を迎えます。64周年となる日米開戦の日が今年も巡ってきます。時は誰にも平等ですが、出来事は千差万別、さまざまに人々の人生に刻まれるものです。

ほんの少しだけ時計を戻すと、この夏は太平洋戦争終戦60年目の節目の年でした。全国戦没者追悼式や広島と長崎の原爆被爆者追悼祈念式典をはじめとして、各地でさまざまな行事が行われました。

8月15日の全国追悼式を報じた新聞記事には、参列遺族約6,300人の中に、『戦没者の親の参列が今年はいかにゼロとなった』と書いてありました。『もしやもしや・』と子を探す親心を歌った『岸壁の母』に代表される世代の終えんでしょうか。いや、次第に薄れてゆく不幸な時代の

記憶だからこそ、親から子、子から孫へと脈々と語り継いで、今日の家族のきずなづくりや地域社会の営みに生かしていかなければならないと感じました。

そう思っていた矢先に、休暇を家で過ごしていた息子が「おれらのじいさんが残した遺言書があったやないかな」と、唐突に言い出しました。

「戦争中のことだから大層なものはないが、戦地から届いた軍事郵便なら大事にしまっておく」と答え、六十年の歳月を物語る赤茶けた、しかも時代離れた検閲済み印のある数通の軍事郵便を家族の前に取り出しました。旧字体の読みづらい文章を解読しながらも読み進むうちに、戦争の時代のこと、戦後の歩みのこと、わが家の来し方などを語りつつ、多少なりとも累代家族があつて、個人があることについての家族のありさまを感じさせる機会となったかなと小満足をしました。

決して愉快に滑らかに語れるはずもないがために、自分からは話題を避けてきたことが、疑問に答える形で60年の節目の家族だらんと感じました。

(文責 俵)

